

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 731 号	氏名	牧山 純也
学位審査委員	主 査	芦澤 和人	
	副 査	柳原 克紀	
	副 査	中島 正洋	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、成人 T 細胞白血病・リンパ腫 (ATL) 患者のなかで、治療対象となる aggressive ATL で、かつこれまで十分な検討がなされていない 70 歳以上の高齢者の治療成績を検討し、今後の高齢者 ATL に関する治療法の確立を試みたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 1994 年 1 月から 2010 年 12 月の間に長崎大学病院血液内科で初回治療入院となった aggressive ATL 患者の内、同種造血幹細胞移植症例などを除いた 148 例 (高齢者群 54 例、若年者群 94 例) を対象とし、患者背景や診断からの生存期間を 2 群間で比較し、高齢者群ではさらに治療内容とその成績等について検討したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、高齢者においても用量調節 (減量) した VCAP-AMP-VECP 療法を行った群は、若年者群と遜色ない成績が得られた。さらに奏功例では、同治療を 2-3 サイクルで終了後、経口抗がん剤による維持療法を行うことが有用であることが示された。今後の高齢者 ATL 患者の治療方針決定に寄与することが大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文はがん化学療法の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			